

日本自殺総合対策学会 第2回総会 議事要旨

1. 日時: 2024年2月26日(月)17:00~17:30

2. 開催方法: Zoomによるオンライン会議

3. 出席状況

会員: 22名(委任状9通含む)、事務局:4名

4. 配布資料

資料1: 次期役員候補者リスト

資料2: 入退会手続と会費等に関する規程

資料3: 2024年度事業計画

資料4: 2024年度収支予算

資料5: 現在の会員数及び2023年度の入退会

資料6: 2023年度活動報告

5. 議事:

(0)開会

(定足数の確認)

・普通会員41名のうち13名の出席および9名から委任状提出があり、委任状を含めて出席者:22名で会議が成立した。(定款第17条)

(1)次期役員を選任(決議)

・椿理事長より、第6回理事会で承認された資料1「次期役員候補者リスト」および役員選考委員会での活動の過程について説明があり、総会にて出席者全員一致でリスト承認された。

・新役員は理事12名および監事2名となった。

(2)会費等の変更について(報告)

・椿理事長より、資料2「資料2: 入退会手続と会費等に関する規程」の説明があった。2024年度より

会費が変更となる旨の報告があった。

- ・会員を増やすことを目的とし、会費を減額することを決断したという説明があった。
- ・法人会員および第5条((資料提供サービスとそれに伴う大会等への参加)についての説明があった。

(3)2024 年度事業計画及び予算(報告)

- ・椿理事長より、資料 3「2024年度事業計画」および資料 4「2024年度収支予算」について報告があった。
- ・事業計画において、まずは場を形成することを第一とし、自治体関係者が参加しやすい仕組みを作ることで会員自体を増やしていく予定であることの説明があった。また、秋季講演会や大会に加えて、勉強会(政策研究会)にて現状を把握して活動の実践報告における課題や問題を議論するというスタイルを考えていることなどの説明があった。
- ・収支予算について、現在の会員数では会費を下げることにより赤字予算ではあるが、資料代の仕組みをつくることで収入を補っていき、会員数を増加させていく必要があることの説明があった。

(4)2023 年度の会員の入退会について(報告)

- ・椿理事長より、資料 5「現在の会員数及び 2023 年度の入退会」について報告があった。2023 年度は入会者 3 名、退会者 6 名で、全体では 3 名減となり、今後は会員の輪を広げていくということがますます重要になるという説明があった。

(5)2023 年度の活動報告

- ・椿理事長より、資料 6「2023 年度活動報告」に基づき、2023 年度の学会活動についての報告があった。その中で、改めて、2023 年秋には学会を機能的にするために定款のスリム化し、代議員制度の廃止を行ったという報告があった。また、2023 年 12 月から第 3 回大会の企画と役員候補者選考委員会の活動が行われたことの説明があった。

(6)その他

- ・なし

以上、この議事要旨が正確であることを承認する。

2024 年 3 月 12 日

日本自殺総合対策学会 理事長 椿 広計
理事 伊藤 次郎
理事 生水 裕美